

植物多様性センターの「果樹」

秋は実りの季節。当センターでも果樹の実りが見られます。

◎ザクロ：原産地は西南アジア、南欧、北アフリカ等諸説あり、日本には 923 年に中国から渡来。偽果で可食部は外種皮に由来。

◎カラタチ：原産地は長江上流域、日本には 8 世紀頃伝来。種子が多く酸味と苦味が強く食用にしない。柑橘類栽培時の台木となる。

◎カキ：東アジア固有種で長江流域に自生、弥生時代以降に伝来。品種は多いが渋柿と甘柿に大別、甘柿は渋柿の突然変異種。

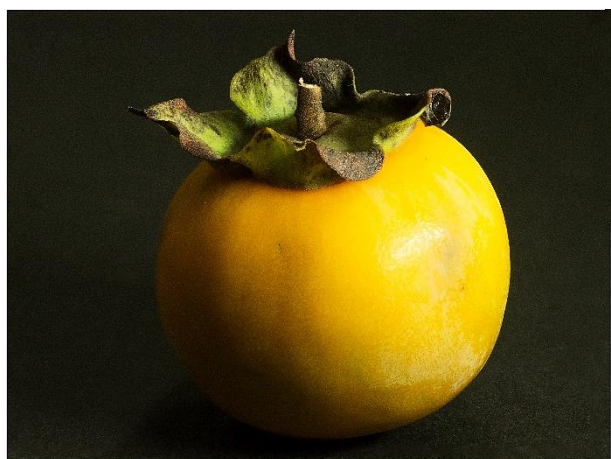
◎クリ：原種はシバグリ(ヤマグリ)と呼ばれ果実は小さい。虫媒花のため花期に強い香りを発散。青森県の三内丸山遺跡出土の DNA 分析から、縄文時代には既に主食として栽培されていたらしい。



ザクロ(ミソハギ科)



カラタチ(ミカン科)



カキ(カキノキ科)



クリ(ブナ科)